

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	14004
課題名	ヒト原発性肝臓における癌関連蛋白質・遺伝子の発現変化に関する検討
研究期間	倫理委員会承認日 ～2018年 3月31日
利用する情報、検体	<input type="checkbox"/> 診療情報（詳細： ） <input checked="" type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（パラフィン包埋ブロック、対象臓器等名：肝臓） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
	※以下の期間に収集した情報、検体が対象となります 西暦 1976年 11月 1日～2014年 5月 31日
研究の意義、目的	<p>日本国内では年間約 3 万人(2012 年)が肝臓がんにより死亡し、その数は肺がん、胃がん、大腸がんに次いで第 4 位です。肝臓がんの発がんメカニズムについては不明の点が多く、これを明らかにすることは肝臓がんの予防や治療に役に立つと考えられます。本研究では、当研究室で蓄積された知見をもとに肝臓がんに関わる蛋白質や核酸 (DNA、RNA) の異常を検討し、肝臓がんの発生メカニズムを調べます。</p>
研究の方法	<p>肝臓がんの治療や病理診断を目的に旭川医科大学病院で摘出・保管されている肝臓組織を用いて研究します。肝臓の薄いスライスを作り、免疫組織化学という手法で肝臓がんでの蛋白質の量と性質の変化を検討します。また、肝臓組織から DNA を取り出し、遺伝子配列を調べ、肝臓がんできている遺伝子の変化を検討します。さらに、RNA を取り出し、遺伝子発現の変化を調べます。以上の検討により、肝臓がんにどのような蛋白質・遺伝子が関与しているのかを明らかにします。</p>
個人情報について	<p>利用する情報、検体からは、お名前や住所など、個人が特定できる情報は削除して取り扱いますので、個人情報が外部に漏えいすることはありません。研究成果発表（学会発表、学術論文への投稿）の際にも、個人が特定できる情報は利用しません。</p>
患者さんの個人情報についての権利	<p>患者さんご本人又は代理人の方は、所定の手続きにより、自己の個人情報の開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止を請求することができます。</p>
問い合わせ等の窓口	<p>所属：旭川医科大学病理学講座腫瘍病理分野 氏名：西川祐司 電話番号：0166-68-2372</p>